

東北地方 1か月予報

(9月1日から9月30日までの天候見通し)

平成19年8月31日
仙台管区気象台発表

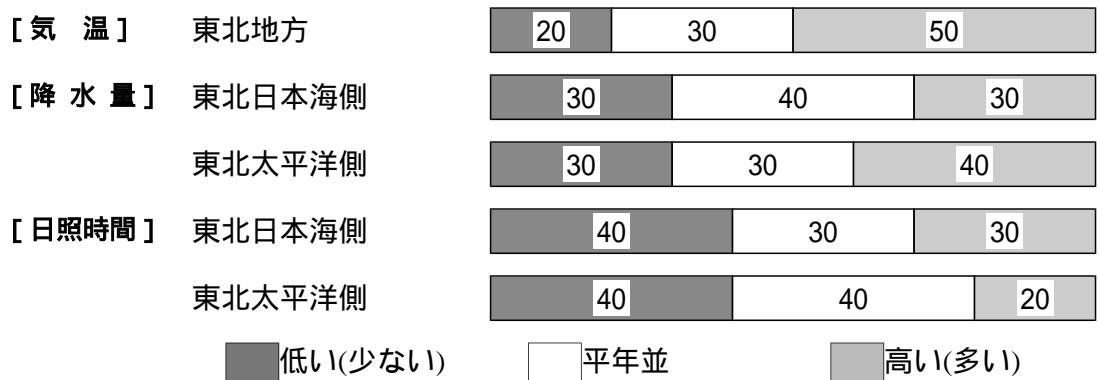
<予想される向こう1か月の天候>

天気は数日の周期で変わるものでしょう。期間のはじめは、気圧の谷や前線の影響により天気はぐずつく見込みです。東北地方は平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。

向こう1か月の平均気温は、高い確率が50%です。日照時間は東北太平洋側で平年並または少ない確率がともに40%です。

週別の気温は、1週目、2週目は平年並または高い確率がともに40%、3~4週目は高い確率が50%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



<気温経過の各階級の確率(%)>



<予報の対象期間>

1か月 : 9月 1日(土) ~ 9月30日(日)

1週目 : 9月 1日(土) ~ 9月 7日(金)

2週目 : 9月 8日(土) ~ 9月14日(金)

3~4週目 : 9月15日(土) ~ 9月28日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報:毎週金曜日 14時30分 次回は9月7日

3か月予報:9月25日(火) 14時

寒候期予報:9月25日(火) 14時

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温()	降水量(mm)	日照時間(時間)	気温()		
				1週目	2週目	3~4週目
青森	18.9	119.8	160.0	21.0	19.7	17.7
深浦	19.1	176.0	155.4	21.2	19.8	18.0
むつ	18.0	172.7	144.4	19.9	18.7	17.0
八戸	18.6	167.7	144.1	20.5	19.4	17.6
秋田	19.9	177.9	154.9	22.2	20.7	18.7
盛岡	18.3	157.5	123.7	20.7	19.2	17.1
大船渡	19.3	218.7	119.1	21.3	20.0	18.3
宮古	18.6	229.4	123.0	20.5	19.3	17.6
仙台	20.4	218.4	119.8	22.4	21.1	19.3
石巻	19.9	163.1	134.0	21.9	20.7	18.8
山形	19.7	134.3	125.6	22.3	20.6	18.5
新庄	19.0	153.0	112.3	21.5	20.0	17.8
酒田	20.5	185.4	149.6	22.7	21.3	19.4
福島	20.7	169.2	112.6	23.2	21.6	19.5
若松	19.9	134.0	125.2	22.5	20.9	18.6
白河	19.1	215.9	111.3	21.5	20.0	17.9
小名浜	21.3	205.8	135.5	23.1	22.0	20.3

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.5 ~ +0.2	86 ~ 110	97 ~ 106
東北日本海側	-0.5 ~ +0.3	83 ~ 108	99 ~ 108
東北太平洋側	-0.4 ~ +0.3	87 ~ 112	97 ~ 106

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.8 ~ +0.7	-0.7 ~ +0.5	-0.5 ~ +0.3
東北日本海側	-0.8 ~ +0.8	-0.8 ~ +0.6	-0.6 ~ +0.2
東北太平洋側	-0.7 ~ +0.7	-0.6 ~ +0.5	-0.5 ~ +0.3

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間ににおける各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成19年8月31日 仙台管区気象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月(9月1日~9月30日):

天気は数日の周期で変わるでしょう。期間のはじめは、気圧の谷や前線の影響により天気はぐずつ見込みです。東北地方は平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。

平均気温は、高い確率が50%です。

1週目(9月1日~9月7日):

この期間、気圧の谷や前線の影響で曇りや雨の日が多いでしょう。

平均気温は、平年並または高い確率がともに40%です。

2週目(9月8日~9月14日):

天気は数日の周期で変わり、東北地方は平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

平均気温は、平年並または高い確率がともに40%です。

3~4週目(9月15日~9月28日):

天気は数日の周期で変わり、東北地方は平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

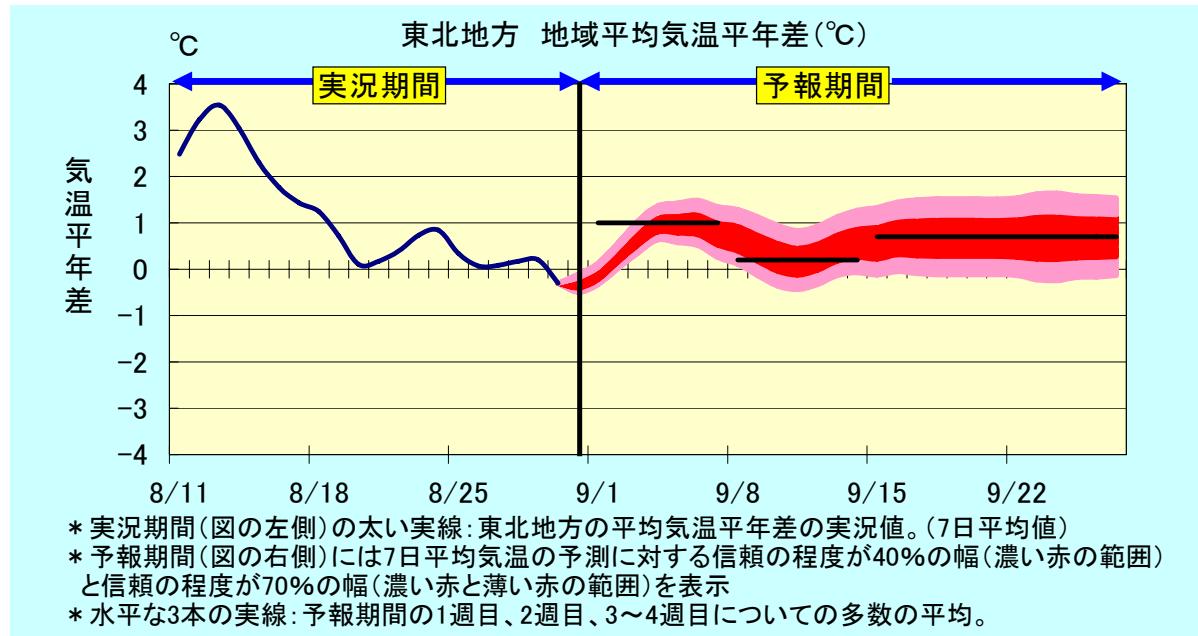
平均気温は、高い確率が50%です。

平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3~4週目
東北日本海側	13.2日	3.6日	3.1日	6.5日
東北太平洋側	12.3日	3.1日	2.7日	6.5日

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別のアンサンブル平均気温は、1週目と3~4週目は平年を上回り、2週目は平年付近の予想となっている。

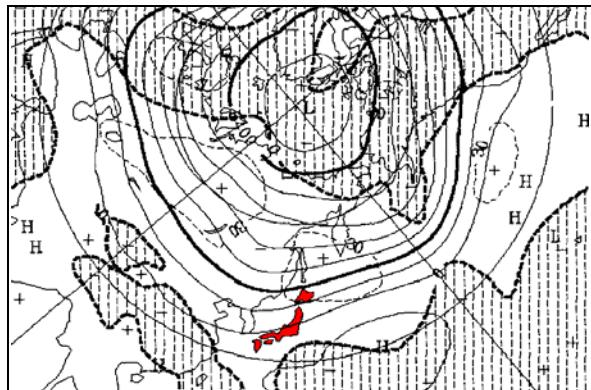


3. 1か月平均と1, 2週目の上空の大気の流れの予想 (500 hPa 予想天気図)

1か月平均：日本を含む大陸から東海上までの中高緯度は広く正偏差。また、日本付近は西谷傾向で、気温は高めが予想される。

1週目：中国東北区から華中付近まで気圧の谷となり、東海上は太平洋高気圧が強く、日本付近は西谷となる。本州以南は帶状に負偏差が広がり、前線や低気圧の影響を受け天気がぐずつく。

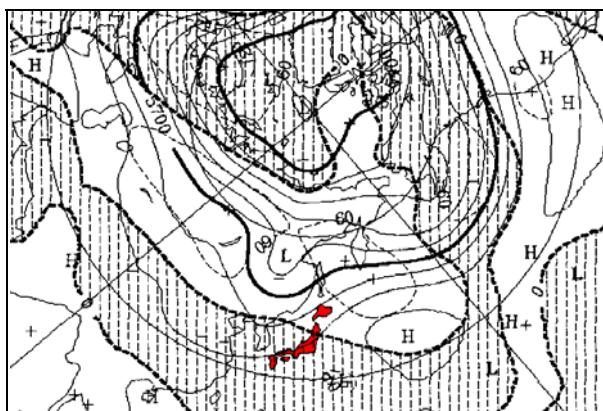
2週目：1週目にみられた西谷は解消し、大陸から日本の東海上までの中緯度は広く正偏差。地上気圧（図略）では、北日本は大陸から東海上まで弱いながらも高圧部で等値線の間隔も広く、天気は数日の周期で変化する。



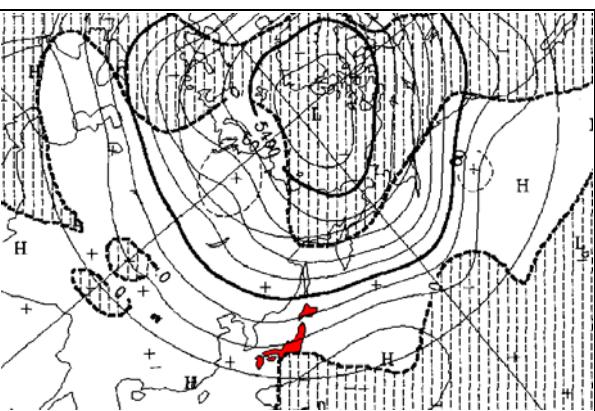
1か月平均 500hPa 予想天気図

(図の見方は1,2週目と同じ)

ただし平年差の間隔は 30m 毎)



1週目平均 500 hPa 予想天気図



2週目平均 500 hPa 予想天気図

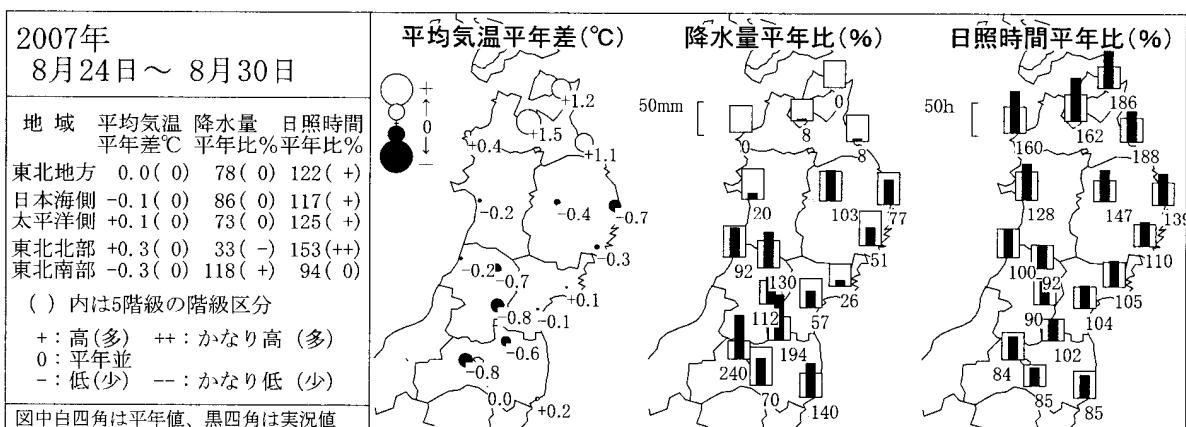
実線は、等高度線（間隔 60m）、点線は、平年差（間隔 60m）

陰影部は、負偏差で一般に寒気に対応する 白抜きは、正偏差で一般に暖気に対応する

4. 最近1週間 (8月24日～8月30日) の天候の経過

この期間、24日から26日までは高気圧に覆われておおむね晴れた。27日には朝鮮半島付近から伸びる前線の影響で、秋田県南部では27日未明に短時間の激しい雨に見舞われ、由利本荘市では最大1時間降水量77ミリ（本荘観測点）を観測し、土砂崩れや床上床下浸水が発生した。その後前線は次第に南下し、28日以降は東北南部は曇りや雨の日が続いたが、東北北部では晴れるところが多かった。

平均気温は東北地方で平年並。降水量は東北北部で少なく、東北南部で多い。日照時間は東北北部でかなり多く、東北南部で平年並。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）